

2025年度
一般選抜前期A方式
入学試験問題
(2月1日)

吉備国際大学

[A-I方式]

公	共	2教科3科目から 1教科1科目選択 配当時間 60分
化	学	
生	物	

[A-II方式]

小	論	文	配当時間 60分
---	---	---	-------------

- (注) 出願時に決定している科目を選択すること。
解答は別紙解答用紙に記入すること。
試験開始の指示があるまで開かないこと。

公 共

1. 次の説明文の（ ）内にあてはまる人物を選択肢から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) イギリスの思想家（ ）は、個人の幸福の合計が社会全体の幸福であり、それを最大にするべきという、功利主義の重要性を唱えた。
- (2) ドイツの哲学者（ ）は、行為の結果に重きを置く功利主義の考え方に対して、人がなぜその行為を選択するのかという、行為の動機に着目した。
- (3) アメリカの政治哲学者（ ）は、2つの正義の原則を唱え、これを「公正としての正義」とよんだ。
- (4) インドの経済学者（ ）は、人間の福祉とは、その人の能力（ケイパビリティ）の開発を確保するようなものであるべきと説いた。
- (5) ドイツの心理学者（ ）は、子どもの集団と大人の集団、双方に所属しながら、どちらの集団に対しても所属意識を持つことが難しく、心理的に揺らいでいる状態のことを「マージナル・マン（境界人）」とよんだ。
- (6) ギリシャの思想家（ ）は、よく生きることは、人間としてのすばらしさ（徳）を発揮して生きることであると唱えた。
- (7) イギリスの経済学者（ ）は、自由な経済活動をおこなえば、「見えざる手」に導かれて、社会全体が発展すると考えた。
- (8) 著書「資本論」で有名な、ドイツの経済学者（ ）は、社会主義経済の樹立による恐慌や失業などの社会問題の解決の重要性を説いた。
- (9) 1929年より起こった世界恐慌に対して、当時のアメリカの大統領である（ ）はニューディール政策を実施した。
- (10) イギリスの経済学者（ ）は、世界恐慌の折、政府が経済活動に積極的に介入し、有効需要をつくり出すべきとする「修正資本主義」の必要性を提唱した。

公 共 (つづき)

選択肢 (記号で解答)

(a) ソクラテス	(b) マルクス	(c) フリードマン	(d) フロイト
(e) セン	(f) プラトン	(g) ベンサム	(h) J. S. ミル
(i) アリストテレス	(j) レヴィン	(k) カント	(l) サッチャー
(m) ケインズ	(n) ガンディー	(o) ルソー	(p) アダム=スミス
(q) ローゼンバウム	(r) リンカン	(s) ロールズ	(t) ロック

2. 次の文章を読み、以下の問いにそれぞれ答えなさい。

国の財政基盤となるものは、国民が負担する租税である。税とは国の財政を動かすために必要不可欠な財源となるため、歳入が健全かつ安定的であることが必要不可欠である。税は大きく、ア) 国税、イ) 地方税の2つからなる。国税は国に直接納める税金であり、地方税は地方公共団体に納める税金のことをさす。なお地方税は、道府県が課す道府県税と、市町村が課す市町村税に分類される。現在、日本の租税に関しては、歳入では、所得税、(①)、(②)の3つが額としては大きな税となっている。

加えて、国民の課税に関して重要なのは、その負担が公平であることである。課税の基本的な考え方として、同程度の所得を得ている人が同程度の税を負担することを(③)をよび、逆に累進課税のように所得が多い人がより多くの税金を負担することを(④)という。ここで常に問題となるのが消費税である。消費税はその人の所得に関わらず一律に課税がなされるため、低所得の人ほど経済的な負担が重くなる、いわば(⑤)性の問題が生じる。消費税の(⑤)性の問題に関しては、その負担感を緩和するために、2019年にウ) 特定商品の消費税率を減じる制度が新たに導入された

現在、日本の財政の課題としては、(⑥)年代に発生したバブル経済の崩壊後、エ) プライマリーバランスの均衡が崩れていることがある。特に日本は他国に比べると、歳入に占める(⑦)依存度が高いことが知られている。歳出に占める(⑦)費の割合が高いことは、結果的に財政の硬直化を招く。今後、長期的な視点を有しながら、国の財政を再建し、財政の健全化をはかることが重要である。

公 共 (つづき)

問 1. ①～⑦にあてはまる語句または数字を書きなさい。

問 2. 下線部ア)、イ)に該当する税を以下の選択肢からそれぞれ 4 つずつ選び、記号を書きなさい。

- | | | | |
|--------|--------|----------|----------|
| a. 所得税 | b. 関税 | c. 自動車税 | d. たばこ税 |
| e. 事業税 | f. 相続税 | g. 固定資産税 | h. 軽自動車税 |

問 3. 下線部ウ)の説明に該当する制度を書きなさい。

問 4. 下線部エ)の説明として正しいものを以下の選択肢から 1 つ選び、記号を書きなさい。

- a. 第 2 次安倍政権による経済政策、通称アベノミクスにより一時的に黒字に転じたが、その後継続して赤字の状況が続いている。
- b. 今後日本は人口減少が進むことで歳出が減少し、近い将来、黒字になると予測されている。
- c. 2024 年から開始された新しい NISA 制度は、国の財政健全化のための切り札と考えられている。
- d. 基礎的財政収支の赤字が継続する場合は、将来の世代がその負担を負うことになる。

3. 次の文章を読み、() 内にあてはまる語句をそれぞれ書きなさい。ただし、(1) ～ (6) は漢字、(7) ～ (10) はカタカナで書きなさい。

(1) 法には国内法と国際法が存在する。前者である国内法は、公法、私法、() の 3 つの法からなる。

(2) 人間が生まれながらにして持つ権利を () 権といい、国家権力からの不当な干渉や侵害を排除する権利とされている。

(3) 1979 年の国連「女子差別撤廃条約」を受ける形で、日本では 1985 年に () 法が制定された。これにより、性別にともなう就職や賃金に関する差別の解消がはかられた。

公 共 (つづき)

- (4) 2013年に制定された()法によって、障害者に対する不当な取り扱いを禁じるとともに、行政機関や企業などに対して合理的配慮の提供を義務づけた。
- (5) 労働者に関わる権利としての「労働三権」は、団結権、団体行動権、()権、3つの権利からなる。
- (6) 2001年に施行された()法により、事業者が不当な勧誘をおこなった場合、労働契約を除き、一定期間内での契約の取り消しが可能となった。
- (7) ()とは特定の人種・民族への差別をあおるものである。表現の自由を理由に見過ごされていたが、2016年にはそれを取り締まる法律が制定された。
- (8) 自己決定権の中でも、特に医療場面において患者に治療に関して十分な説明をおこなった上で同意を得ることを()とよぶ。
- (9) 「社会保障・税番号制度」、通称()制度は、行政手続きの効率化をはかる制度であるが、個人情報の流出に対する懸念も叫ばれている。
- (10) 情報の受け手である国民が、マス・メディアに対して表現の機会を求める()権は、「知る権利」の一環といわれている。

4. 次の文章を読み、以下の問いにそれぞれ答えなさい。

2016年の(①)法の改正により、選挙権年齢が18歳以上となった。これにより高校生であっても選挙を通じて政治に参加ができる仕組みとなった。投票権を持つようになった今、若い時から、選挙とは社会的にどのような意味を持つのか十分理解しておく必要がある。その理由は、投票を通じて、どの候補者やどの政党に投票するのか判断することが、我々が生活する社会をどうつくっていくのかを考える機会であるためである。

日本の衆議院の選挙制度は、1つの選挙区から1人を選ぶ小選挙区制と、政党の得票数に応じて議席が配分される比例代表制を組み合わせた(②)制である。参議院の選挙制度は、都道府県ごとを選挙区として、1つの選挙区から複数人を選ぶ選挙区制と、全国を1つの選挙区とする比例代表制を組み合わせた制度である。

次に、近年叫ばれている選挙制度の問題点を4点に整理する。1つ目は、選挙区ごとに有権者数が異なるために生じる、(③)の問題である。有権者の一票の価値が異なることが、法の下の平等を定めた憲法に違反するかについては、これまでに多くの裁判で争われてきた。

公 共 (つづき)

2つ目は、選挙運動の進め方についてである。本来、選挙運動は法に定められたルールに沿って進められる。例えば、金銭や物品による票の獲得や誘導は禁じられている。そのため、ア) 候補者の親族や秘書などが、買収などの罪で有罪になった場合は、候補者が直接関与していなくとも当選が無効となるよう定められているが、このルールに違反する事例が多々起きている。

3つ目は、選挙の投票率そのものの低さである。投票率向上の一つの解決法として、有権者が投票日当日に投票に行くことができない場合に、公示(告示)から投票日の前日までに投票が可能な(④)制度が設けられた。しかし現時点では、根本的な投票率の向上につながっているとは言いがたい。

最後、4つ目は、選挙活動におけるSNS活用とその影響についてである。近年、SNSを活用した選挙活動は特に若者世代の投票行動を大きく左右している。そのため、選挙に関連する正しい情報を見極め、理性的に批判できる、(⑤)を身に付けることが必要不可欠となっている。さらには、「虚偽報道」とよばれる(⑥)に接触する機会も増えている。こと政治や選挙に関しては、日頃から情報をしっかり精査することが今後ますます重要となるであろう。

問1. ①～⑥にあてはまる語句をそれぞれ書きなさい。

問2. 下線部ア)の説明にあてはまる用語を書きなさい。

問3. 選挙に関する説明として正しいものを以下の選択肢から全て選び、記号を書きなさい(複数選択可)。

- a. 政党支持率など、各新聞社が提供する世論調査の結果は共通である。
- b. 国政選挙の年代別投票率は、30代・40代で高い傾向がある。
- c. マニフェストとは各政党の政権公約であるため、有権者は投票をおこなう前に理解しておくといよい。
- d. 有権者は電子メールを活用した選挙運動をおこなうことはできない。

公 共 (つづき)

問4. 国政選挙の投票制度に関する説明として正しいものを以下の選択肢から全て選び、記号を書きなさい (複数選択可)。

- a. 海外に居住している場合、在外選挙制度により投票が可能である。
- b. 出張中の場合、郵便投票制度により投票が可能である。
- c. 病気や怪我で投票の記載ができない場合、代理投票制度により投票が可能である。
- d. 特定の老人ホームに入所している場合、不在者投票制度により投票が可能である。

5. 次の説明文の () 内にあてはまる語句を選択肢から選び、それぞれ記号を書きなさい。

- (1) 第二次世界大戦後、資本主義諸国 (西側) が結成した () に対抗するかたちで、社会主義諸国 (東側) はワルシャワ条約機構を結成した。
- (2) 1989年、アメリカとソ連の両首脳は、() において冷戦の終結を宣言した。
- (3) 第二次大戦後、ヨーロッパで長い間差別や迫害を受けてきたユダヤ人がパレスチナに () を建国した。しかし現在でも先住のアラブ人 (パレスチナ人) との間で紛争や対立が続いている。
- (4) 1990年、イラクのクウェート侵攻を契機として、翌年 () が勃発した。
- (5) 2001年、アメリカにおいて () が起きたのちに、英米軍などがアフガニスタンのタリバン政権に対する攻撃を行った。
- (6) 2010年にチュニジアで始まった反政府デモは翌年には近隣諸国に影響を与えた。この時、中東・北アフリカで起こった民主化運動を、() とよぶ。
- (7) ロシアの () 編入をきっかけとして、2014年よりウクライナ東部にてウクライナ紛争 (内戦) が起きた。
- (8) 民族対立や民族紛争は結果として多くの難民を生むことになる。この問題については、() が中心となり解決に取り組んでいる。
- (9) 民族問題において「自民族中心主義」のことを通称 () とよぶ。この考え方は、少数民族を抑圧する傾向がある。
- (10) 昨今、世界のあちこちで民族紛争が起きている現状から、紛争後の停戦や治安の維持を目的とした国連平和維持活動、通称 () の役割の重要性が増している。

公 共 (つづき)

選択肢 (記号で解答)

- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------------|
| (a) アラブの春 | (b) シリア内戦 | (c) NATO | (d) イラク戦争 |
| (e) 同時多発テロ | (f) UNHCR | (g) PKO | (h) ヨルダン |
| (i) ヤルタ会談 | (j) クリミア | (k) 湾岸戦争 | (l) IAEA |
| (m) マルタ会談 | (n) スーダン | (o) ポピュリズム | (p) イスラエル |
| (q) マイノリティ | (r) UNESCO | (s) ポツダム会談 | (t) エスニッククレンジング |
| (u) BLM運動 | (v) 公民権運動 | (w) WTO | (x) エスノセントリズム |
-

化 学

解答は解答用紙にすべて記入すること。

I. ニトロベンゼン ($C_6H_5NO_2$)、フェノール (C_6H_5OH)、安息香酸 (C_6H_5COOH)、アニリン ($C_6H_5NH_2$) の混合物を①～⑧の操作で分離した。(1) (2)の問いに答えなさい。

- ① ニトロベンゼン、フェノール、安息香酸、アニリンの混合物を含むジエチルエーテル溶液を分液漏斗(分液ろうと)に入れた。
- ② ①のジエチルエーテル溶液に希塩酸を加えよく振り混ぜ、静置した後、水層(水溶液の部分)とエーテル層(ジエチルエーテル溶液の部分)の2層に分離した。
- ③ 分液漏斗から②の水層を取り出した。
- ④ ③の操作後、分液漏斗に残ったエーテル層に炭酸水素ナトリウム水溶液を加えよく振り混ぜ、静置した後、水層とエーテル層の2層に分離した。
- ⑤ 分液漏斗から④の水層を取り出した。
- ⑥ ⑤の操作後、分液漏斗に残ったエーテル層に水酸化ナトリウム水溶液を加えよく振り混ぜ、静置した後、水層とエーテル層の2層に分離した。
- ⑦ 分液漏斗から⑥の水層を取り出した。
- ⑧ ⑦の操作後、分液漏斗に残ったエーテル層を取り出し、ジエチルエーテルを蒸発させた。

(1) 次のア～カによって起こる化学反応について、示性式を用いた化学反応式を書きなさい。

- ア. 操作②において、①のジエチルエーテル溶液に希塩酸を加える。
- イ. 操作④において、分液漏斗に残ったエーテル層に炭酸水素ナトリウム水溶液を加える。
- ウ. 操作⑥において、分液漏斗に残ったエーテル層に水酸化ナトリウム水溶液を加える。
- エ. 操作③において、分液漏斗から②の水層を取り出し、この水層に水酸化ナトリウム水溶液を加える。
- オ. 操作⑤において、分液漏斗から④の水層を取り出し、この水層に希塩酸を加える。
- カ. 操作⑦において、分液漏斗から⑥の水層を取り出し、この水層に希塩酸を加える。

(2) 操作⑧において、分液漏斗に残ったエーテル層に溶けていた物質名を答えなさい。

II. 中和滴定により濃度のわからない希硫酸の濃度を求めることとする。この希硫酸 10mL を完全に中和するために、濃度 0.20mol/L の水酸化ナトリウム水溶液 9.4mL を要した。(1) (2)の問いに答えなさい。

- (1) 硫酸と水酸化ナトリウムの中和反応の化学反応式を書きなさい。
- (2) 希硫酸の濃度 (mol/L) を求めなさい。計算過程も示すこと。

化 学 (つづき)

Ⅲ. 次の表は、各結晶の特徴をまとめたものである。空欄①～⑫に当てはまる最も適切な語句を、表中の a～e に対応する【語句群】から一つずつ選び、その語句を解答欄にそれぞれ書きなさい。

表

	金属結晶	イオン結晶	共有結合の結晶	分子結晶
a. 粒子間の結合	①	②	③	④
b. 構成粒子	⑤	⑥	⑦	⑧
c. 化学式の表し方	⑨	⑩	⑪	⑫
d. 物質例	⑬	⑭	⑮	⑯
e. 物質例の電気伝導性 (常温・常圧下での結晶状態)	⑰	⑱	⑲	⑳

【語句群】

- a. 分子間力による結合 金属結合 イオン結合 共有結合
- b. 非金属元素の原子 陽イオンと陰イオン 金属元素の原子 分子
- c. 分子式 組成式
- d. ダイヤモンド ショ糖 銅 炭酸水素ナトリウム
- e. 電気伝導性あり 電気伝導性なし

Ⅳ. 次の文章を読み、(1)～(4)の問いに答えなさい。

二酸化硫黄 SO_2 は、酸化剤あるいは還元剤として働くことがある。例えば、①ヨウ素溶液に二酸化硫黄の水溶液を加えると、ヨウ素溶液の色は変化する。このとき、②溶液中のヨウ素 I_2 はヨウ化物イオンに変化し、③二酸化硫黄は硫酸イオンへ変化する。また、二酸化硫黄の水溶液に硫化水素 H_2S の水溶液を加えると、溶液は、硫黄 S が生じたことにより白濁する。このとき、④二酸化硫黄は硫黄に変化し、⑤硫化水素は硫黄へ変化する。

- (1) 下線①において、ヨウ素溶液は何色(反応前)から何色(反応後)へ変化するか。
- (2) 下線②～⑤の変化について、電子 e^- を含む反応式でそれぞれ示しなさい。
- (3) 次のア～エについて、下線に示したヨウ素原子 I または硫黄原子 S の酸化数をそれぞれ答えなさい。
 ア. $\underline{\text{I}_2}$ イ. $\underline{\text{SO}_2}$ ウ. $\underline{\text{H}_2\text{S}}$ エ. $\underline{\text{S}}$
- (4) 下線②～⑤の変化において、下線②のヨウ素、下線③④の二酸化硫黄、下線⑤の硫化水素は、酸化剤または還元剤として働いている。酸化剤か、還元剤かをそれぞれ答えなさい。

生 物

I. 以下の問いに答えよ。

問1 次に示す植物細胞がもつ細胞小器官の働きを次の(a)~(j)より1つずつ選び、記号で答えよ。

ミトコンドリア、葉緑体、核、ゴルジ体、細胞膜、リボソーム、細胞壁、液胞、小胞体

- (a) 物質の分泌 (b) 物質の貯蔵 (c) タンパク質の合成 (d) 光合成の場
(e) タンパク質の移動通路 (f) 細胞の形の維持
(g) クエン酸回路・電子伝達系の場 (h) 細胞の遺伝情報の保存と伝達
(i) 物質の出入りの調節 (j) タンパク質の運搬とステロイド合成や脂質代謝

問2 問1に示した細胞小器官のうち、原核生物にも存在する構造体を全て選べ。

問3 ミトコンドリア、葉緑体、核は、それぞれ異なる構造と働きをもつが、共通の特徴も持っている。3つの小器官がもつ構造上の共通点と共通して含まれる物質を答えよ。

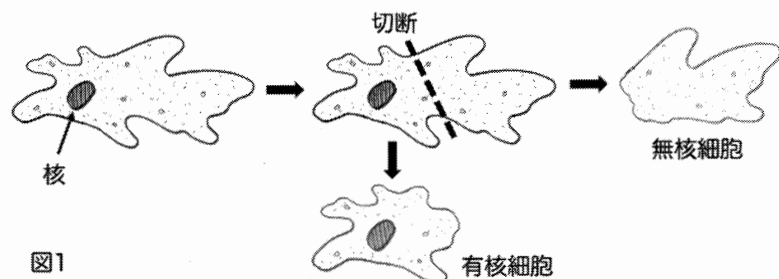
問4 ミトコンドリア、葉緑体、核は、それぞれ大きさが異なる。大きいものから順に並べよ。

問5 ミトコンドリアと葉緑体は、それぞれ呼吸と光合成を行うが、そのエネルギーの貯蔵や利用の過程で同じ物質を利用している。その物質を答えよ。

問6 ミトコンドリア、葉緑体、核には、種類や性質が異なるさまざまな酵素が含まれている。酵素の主成分を答えよ。

問7 アメーバは1つの核をもつ大型の単細胞生物である。図1のように1つのアメーバを顕微鏡下で切断して、核を含む部分(有核細胞)と含まない部分(無核細胞)に分けた。

- (1) それぞれの細胞はその後、どうなると考えられるか。次の(ア)~(エ)からそれぞれ選び、記号で答えよ。



- (ア) 成長も増殖もせず、やがて死ぬ。
(イ) 成長するが増殖せず、やがて死ぬ。
(ウ) 増殖するが成長せず、やがて死ぬ。
(エ) 成長し、増殖して生き続ける。

生 物 (つづき)

(2) (1)から核は生きている細胞にどのような影響を与えると考えられるか。簡潔に説明せよ。

(3) 次の①～⑤の生物の内、アメーバと同様に核をもつ単細胞生物を全て選び、番号で答えよ。

- ① ゾウリムシ ② アオミドロ ③ 酵母 ④ イシクラゲ ⑤ 大腸菌

II. 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

私たちの身のまわりには、ウイルスや細菌など、さまざまな病原体が存在している。ヒトの場合、大きく3つの免疫のしくみによって、からだを守られている。第一の防御として、異物の多くはまず、皮膚や(ア)による侵入阻止、気管の(イ)上皮などによる異物の体外への排除といった物理的防御と、涙や(ウ)など細菌の細胞壁を分解する作用をもつ(エ)が含まれる分泌物による化学的防御が行われる。また、これらの防御をすり抜けて異物が体内に侵入すると、第二の防御として、 α 好中球やマクロファージ、樹状細胞などの(オ)作用をもった細胞が働き、異物を除去しようとする。物理的・化学的防御と(オ)作用などをまとめて、(カ)免疫という。第三の防御は、樹状細胞などから異物に関する情報を受け取ったリンパ球が中心となって引き起こされる獲得免疫である。獲得免疫の特徴の1つは、 γ 一度体内に侵入した異物に対する情報が長期間記憶されることである。

問1 上の文中の空欄(ア)～(カ)に最も適切な語をそれぞれ1つ選び、番号で答えよ。

- ① 粘膜 ② ホルモン ③ 感染 ④ 血しょう ⑤ 解毒 ⑥ 酵素 ⑦ 自己
⑧ 自然 ⑨ 食 ⑩ 繊毛 ⑪ だ液 ⑫ 鞭毛 ⑬ 基質 ⑭ リンパ球 ⑮ 適応

問2 下線部Xの細胞がもつ受容体の名称を答えよ。

問3 下線部Yが関係する事柄の例として適切でないものを2つ選び、番号で答えよ。

- ① ツベルクリン反応 ② 血液凝固 ③ 予防接種 ④ アナフィラキシーショック
⑤ 抗原に対する二次応答 ⑥ 2型糖尿病

問4 図2はヒトの獲得免疫のしくみを示した模式図である。あとの各問いに答えよ。

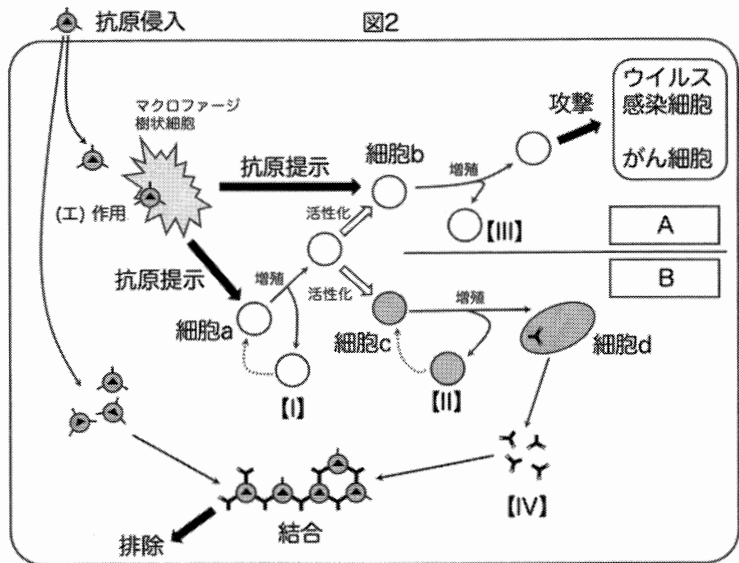
(1) 図2の細胞a～細胞dの名称を答えよ。

(2) 図2の【I】～【III】は、細胞b～細胞dが増殖してできた細胞の一部である。これらの細胞は何と総称されるか。

(3) (2)の細胞は何のために作られるか、簡潔に答えよ。

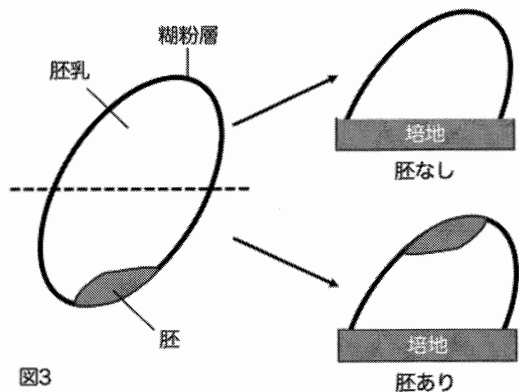
(4) 図2の物質【IV】は何とよばれるか。

(5) 獲得免疫のしくみは、細胞aや細胞bが中心となって起こるAと、細胞cや細胞dが中心となって起こるBに分けられる。A、Bの名称を答えよ。



III. 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

植物ホルモンの1つであるジベレリンは、イネの病原菌が生産する物質として発見され、イネの草丈が異常に伸びる病害の作用因子であることが明らかとなった。その後、種子や芽の休眠の解除などの作用をもつことがわかった。休眠した種子は、水、温度などの環境条件が適切であれば発芽する。イネやオオムギなど多くの植物では、ジベレリンが種子の発芽を促進する。オオムギの種子の発芽時におけるジベレリンのはたらきを調べるために、以下のような実験をおこなった。



【実験】図3のようなオオムギの種子を胚のない部分(胚なし)と胚のある部分(胚あり)に切り分け、表1のA～Cの3種類の寒天培地の表面に接するように、それぞれの種子片の切り口を下に置いた。25℃で3日間放置したのち、種子片を取り除き、寒天培地にヨウ素溶液を霧吹きで吹きかけ、種子片が接していた場所でヨウ素デンプン反応が起こるか観察した。得られた結果を表1に示す。

表1

培地組成		種子片	
		胚あり	胚なし
A	寒天+デンプン	-	+
B	寒天+デンプン+ジベレリン	-	-
C	寒天+デンプン+デンプン分解酵素阻害剤	+	+

+ : ヨウ素デンプン反応あり - : ヨウ素デンプン反応なし

生 物 (つづき)

- 問1 デンプンは主に種子中のどの部分にあるか、名称を答えよ。
- 問2 デンプンを分解する酵素名を答えよ。また、この酵素は種子中のどの部分で合成されるか、名称で答えよ。
- 問3 問2の酵素によってデンプンは二糖である(ア)などに分解され、最終的に単糖である(イ)に分解される。(ア)、(イ)にあてはまる物質名を答えよ。
- 問4 問3(イ)はその後どのように種子で利用されるか、簡潔に説明せよ。
- 問5 【実験】の結果から、発芽促進における胚の役割を簡潔に説明せよ。
- 問6 培地Cにあらかじめ、ジベレリンを加えておき、胚なしの種子片を用いると、寒天培地上の種子片が接していた場所において、ヨウ素デンプン反応は観察されるか、表1のように+か-で答えよ。また、そうなる理由を述べよ。
- 問7 ジベレリンのはたらきとは逆に、発芽を抑制する作用をもつ植物ホルモンを1つ答えよ。
- 問8 ジベレリンは茎の伸長を促進するはたらきももつ。ジベレリンのほかに、茎の伸長を促進する作用をもつ植物ホルモンを1つ答えよ。

小 論 文

吉備国際大学はブランドビジョンとして「実践的な知識を自ら学ぶ力、多様化する社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばします。」を掲げています。このブランドビジョンの三つの力を育成するための本学の教育の特色として、「国際化」と「地域連携・地域貢献」があります。

次の文章は多文化共生社会の構築について論じたものです。総務省は多文化共生を「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義していますが、文章中には、このことは決して容易ではないと書かれています。日本の地域社会において多文化共生を妨げる要因には何があるか、またそれを解決するためにはどうすれば良いと思うか、あなたの考えを述べなさい。

— 別紙に六〇〇字以内で述べなさい —

このページには一部問題はありません

このページには問題はありません